

第 97 回大腸癌研究会 広報委員会

議事録

日時： 2022 年 7 月 7 日 (木) 13:00~13:30

委員長：石黒めぐみ (東京医科歯科大学)

委員：猪股雅史 (大分大学)、岡 志郎 (広島大学)、島田能史 (新潟大学)、問山裕二 (三重大学)、濱口哲弥 (埼玉医科大学国際医療センター)、藤田文彦 (久留米大学)、母里淑子 (埼玉医科大学総合医療センター)、森脇俊和 (筑波大学)

(五十音順、敬称略)

1. 委員会の改組について

今回より石黒が委員長に。異動に伴い深澤委員が退任され、新委員として猪股委員、藤田委員、母里委員に参加いただくこととなった。新委員よりご挨拶をいただいた。

2. 報告事項

1) 2022.1.25~2.04

大腸癌治療 GL2022 年版発刊のお知らせ (医師用、患者用) HP 掲載後、誤植・誤記が発覚→GL 作成委員会で作成した正誤表を急遽 HP に掲載した。

2022.2.03 「医師用」正誤表の HP 掲載完了。

2022.2.04 「患者さんのための～」正誤表の HP 掲載完了。

2) 2022.2.03

過去の「大腸癌取扱い規約」の HP 掲載完了 (第 1~8 版、英語版：第 1~2 版)。また、掲載に併せて、画面左側メニューに『取扱い規約』のバナーを新設し、取扱い規約に関する情報を掲載する“独立したページ”を作成した。

3) 2022.2.08

「全国大腸癌登録」 ①「2014 年治療例登録」のご案内を HP 掲載 (その後何回か修正あり)、②報告書 vol.35~37 (2009~2011 年治療例) を HP 掲載。なお、③報告書 vol.38~39 (2012・2013 年治療例) も 2022.3.30 に HP 掲載。

4) 2022.2.17

リンク集 (市民の皆様向け/会員・ドクター向けの双方) について、リンク切れ等の修正を行った。←前回委員会時に委員より指摘のあったもの+α。

5) 2022.2.24

役職者 (会長、幹事・監事)、世話人の世話人の氏名を HP 掲載。

2022.3.28 新会長挨拶 (日本語版、英語版) を掲載。

6) 2022.3.29

「ガイドライン関連の最新情報」2 件を HP 掲載。

①TMB-High を有する進行・再発の固形癌に対するペムプロリズマブ療法

②HER2 陽性の切除不能進行・再発大腸癌に対するペルツズマブ+トラストズマブ療法

7) 2022.5.12

『大腸癌研究会について』内「会員施設一覧」ページに、全会員施設 (545 施設) を掲載。

併せて、『市民の皆様へ』内にも「大腸癌研究会 会員施設一覧」への入口を新設した。

⇒ 施設代表者会議にて、現掲載内容の確認を依頼 (アナウンス) する予定。

8) 2022.6.09

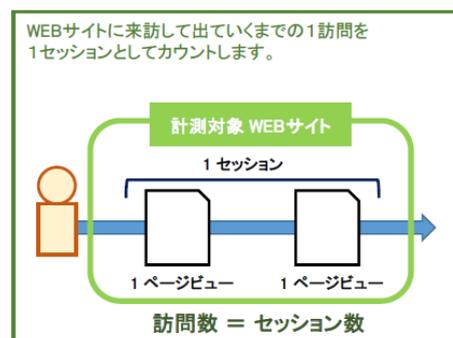
アクセスレポート (2022 年 1 月～2022 年 5 月) を掲載。

「ページビュー」は月平均で約 9 万件。

「訪問者数」は月平均で約 5 万件弱。

←前期と比べてほぼ不変

※2021 年 6 月～12 月のレポートに数字の誤記があり、併せて差し替えを行った。



9) 2022.6.23

「大腸癌治療ガイドライン医師用 2022 年版」に関するアンケートを HP に掲載。

10) 2022.6.28

「活動中の委員会」の委員名を、各委員会 HP に掲載。

3. 作業中の事項に関する報告・検討

1) 『関連論文』の掲載について

✓ 昨年末～2022.2 月にかけて各プロジェクトの長に内容確認 (修正、追加) を依頼。

✓ 2022.3.03 原稿を HP 業者に送付 ⇒現在、HP 業者にて作業進行中。

✓ 事前にバナー案 (A～D) について委員会で検討したが、A: 4 票、D: 4 票 (B と C は 0 票) であった。

⇒ 「背景色は A 案、イラストは D 案」の新案を作成し、再度検討することとした。

2) https 化

✓ 研究会 HP の URL を「http:～」から「https:～」に変更した方が良いと考えた。

→幹事会に諮り承認を得た。⇒HP 業者に作業を依頼予定。

3) 研究会の抄録集の電子版掲載について

- ✓ 第 58 回以降の抄録集は HP 掲載済み。
- ✓ 第 57 回 (2002 年 7 月) 以前については、PDF の軽量化作業中であり、完了次第順次掲載していく。

4. 検討事項

1) 研究成果 (業績) の今後の収集について

- ✓ 委員会・プロジェクト研究で公表された論文について、研究会事務局への報告が漏れていることも多々ある。議事録の掲載がない委員会・プロジェクトもある。
 - ✓ 前回委員会にて、情報の収集は本来は広報委員会の業務の範疇ではないと思われるが、①各委員会・プロジェクト研究に、業績を含む簡単な「年次報告」の提出を課す (その中から論文業績を抽出し、HP に反映する) 案について、幹事会に相談する方向で検討を進めること、②ただし、先生方に負担をかけない程度の報告形式について、実施可能性も含め引き続き本委員会で検討することとなった。
- ⇒ しかしながら、以下の 3 点を実施することにより「年次報告」ナシでも自発的な提出が見込めると考え、研究者にかける手間も考慮し、しばらくは「年次報告」はナシで様子を見る方針とした (収集状況が悪ければ「年次報告」を再考)。
- ・研究成果が委員会／プロジェクト毎に掲載されるようになる (作業中)。
 - ・“広報委員会” の連絡先メールアドレスを開設し (研究会事務局に依頼中)、論文掲載の窓口を HP に明確に提示する。
 - ・研究成果の提出を世話人会、施設代表者会議等で毎回アナウンスする。

2) 「大腸癌研究会での臨床研究」ページのアップデート不良

- ✓ 倫理審査委員会と連携した以下のようなフロー案を検討した。
 - ①倫理審査委員会<承認時> (初回承認時、変更承認時のいずれも) に、倫理審査委員会から申請者に「広報委員会に情報公開文書を提出すること」を指示してもらう。その際の指示用の文書 (連絡先等を明記) を用意しておき、申請者に渡す。
 - ②提出されたものを広報委員会で HP 掲載。
 - ③倫理審査委員会の前回議事録と照らし合わせ、未提出の研究がないかチェックする。
 - ④半年に 1 回、掲載情報から終了していそうな研究をチェックし、研究責任者に status を確認する。→終了しているものは status 変更。
- ⇒ このフロー案で具体的な準備を進める方針とした。

3) 「市民の皆様へ」ページ下段の<アンケート>の集計

- ✓ 2020 年 1 月～2022 年 4 月ぶんを集計した (579 件)。概ね前回と同様の結果であった。(前回集計は 2018 年 1 月 (対象期間: 2016 年 7 月～2017 年 12 月))。

- ✓ 集計結果については、「患者さんのためのガイドライン作成委員会」に共有した。
 - ✓ 前回委員会にて、年 1 回程度の定期的な集計を行うことが良いとの意見で一致したことを受け、(現在、集計が面倒な形に作られているので) Google form を利用した集計しやすい形のフォーム案を作成し、検討した。
- ⇒ 委員の意見を踏まえ文章を一部修正した。この内容で HP 実装を進める。

以上